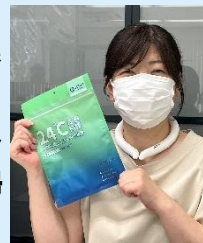


「2022夏 暑さ対策」(上岡)

6月28日に観測史上最速で梅雨が明け、今年の夏は平年より厳しい暑さになるとのこと。いよいよ猛暑日が続くツライ日々ですね。毎年熱中症対策に色々な便利グッズが発売されていますが、今回は私が今年購入した個人的にお気に入りのアイテムをご紹介します！ネックリング・クールリングなどと言われているもので、このリングで首を冷やして効率的に身体をクールダウンできる便利グッズです。PCMというジェル状の特殊冷却素材でできていて、難しいことはよくわかりませんが、不思議なことに結露しないんですよ！結露の心配なく、首にグルッと心地よい冷たさを巻いて、充電や電池など不要でエコ。冷凍庫から凍らせたリングを装着してすぐの快適さは最高で、その後もじんわり心地良いヒンヤリ感が続きます。炎天下の屋外での使用は物足りないかもしれませんが、私は家で料理や掃除をする時の必需品になっています。今年の暑い夏の大事な相棒です😊



今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【私設取引システム（PTS）】

投資家が証券取引所を介さずに株式などの有価証券を売買できる電子取引システムのこと。1998年12月の証券取引法改正により導入され、英語表記の頭文字を取ってPTSと呼ばれる。2019年8月以降、規制の見直しで信用取引が解禁となり、上場株式取引全体の約10%を占めるようになった。2022年1月、金融庁より公表された「最良執行方針」に関する規制の見直し、さらに取引拡大の追い風になると予想される。

知っとこ！「税務のマメ知識」

【「もしも」のときの頼もしい制度】

取引先の不測の事態は、できることなら避けて通りたいものです。しかし商売を営む上では、あらゆるリスクを想定しておかなければなりません。回収困難となった売掛金が少額であれば、それが事業継続に及ぼす影響は小さいでしょう。しかしもしも多額の売掛金が回収できない状況になったら、事業継続は難しくなり連鎖倒産という最悪の事態に陥るかもしれません。このような「もしも」のときの資金調達として「中小企業倒産防止共済」という制度があります。これは国が全額出資している独立行政法人中小企業基盤整備機構という機関が運営をしています。毎月5000円から20万円の範囲で積み立てを行い、現状では800万円（掛金の40倍で掛け止めも可）まで積み立てることができます。またメリットとして、掛金は税法上、法人の場合は損金、個人の場合は必要経費に算入することができます。



そして一番気になる「もしも」のときには、積み立てた掛金総額の10倍の範囲内（最高8000万円）で、回収が困難となった売掛金債権等の額以内の「貸付け」が受けられます。しかも「無担保」「無保証人」「無利子」で借り入れることができます。財務状況や返済能力などによる金融審査での借り入れではないため「もしも」のときに役立つ制度です。何事も用心するに越したことはないですね。

今を生きる
先人の言葉

つらい時の特效薬は
心から笑うこと

『アンネの日記』の著者として知られるアンネ・フランクの言葉。この後に「薬を10錠飲むよりも、心から笑ったほうがずっと効果があるはず」と続く。その通りだ。